

描かれた多摩～絵図から見た江戸時代の多摩～



江戸時代、多摩はどのように描かれたのでしょうか。

江戸時代の多摩を描いた代表的な絵図として、『調布玉川惣画図』や『江戸名所図会』などが知られています。今回の展示では、『調布玉川惣画図』や『江戸名所図会』など、江戸時代に多摩を描いた絵図について書かれた資料や、それらを描いた長谷川雪堤などについて書かれた資料を紹介します。

江戸時代の多摩はどんな場所だったのか、絵図を見ることで当時の姿の一端を知ることができると思います。

展示資料リスト

タイトル	編著者	出版者	出版年	請求記号
多摩市史 通史編1	多摩市史編集委員会	多摩市	1997	Kウ213.6
調布玉川惣画図の旅	パルテノン多摩	パルテノン多摩	2018	Kロ721.2
江戸の絵師 雪旦・雪堤	東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館	1997	K721.3
武蔵名勝図会	植田孟縉	慶友社	1975	K291.36
多摩市史叢書13 相沢五流	多摩市史編集委員会	多摩市	1998	Kウ721.3
災害と多摩	パルテノン多摩	パルテノン多摩	2017	Kウ369.3
消えた寺が語るもの	パルテノン多摩	多摩市文化振興財団	2012	Kウ188.85
多摩の里山	パルテノン多摩	パルテノン多摩	2006	Kウ652.1
多摩川絵図	今尾恵介	けやき出版	2001	Kロ291.36
『江戸名所図会』でたずねる多摩	重信秀年	けやき出版	2013	291.36/K291.36
多摩のあゆみ 第1～5号	多摩文化資料室	多摩中央信用金庫	1976	Kア210.05